

いやいや、青でした。

今、赤信号でしたよね？



付けてますか？ ドライブレコーダー。

ドライブレコーダーは真実を語る目撃者です。

気付いてから事故が起こるまでの1秒にも満たない一瞬。パニックの中あなたは現場の状況を全て記憶できますか？
事故後、当事者間の言い分が食い違い、確たる証拠がないまま、あなたが一方的に悪者にされてしまい、
予想外の損害賠償を求められるといったケースがないとは言えません。
ドライブレコーダーを搭載していれば、現場の状況を映像で正確に再現する目撃者となります。
事故後の様々な手続きもスムーズに進めることができ、きっとあなたの証言を裏付けてくれる心強い味方になります。

ドライブレコーダーの3つのメリット

事故の正確な記録・証拠として

事故後の様々な手続きをスムーズに進めることができます。

安全運転の意識向上として

記録映像を見て、運転のくせや注意点を客観的に確認して見直すことができ、事故の抑止が期待できます。

安全教育への活用として

記録映像を利用した運転者、乗務員の安全教育へ活用ができます。

ドライブレコーダーとは？

映像記録型ドライブレコーダーは、常時映像を記録したり、車両に衝撃や急ブレーキを感知したときに「さかのぼり記録」により前後10～20秒間の映像を記録したりします。これらの映像から事故や操作ミスがどういった状況で起きたかの確認ができます。



← 録画中 →

さかのぼり記録

事故や操作ミスがどのように発生したかがわかる。



ドライブレコーダーを活用して 安全運転、安全指導を!!



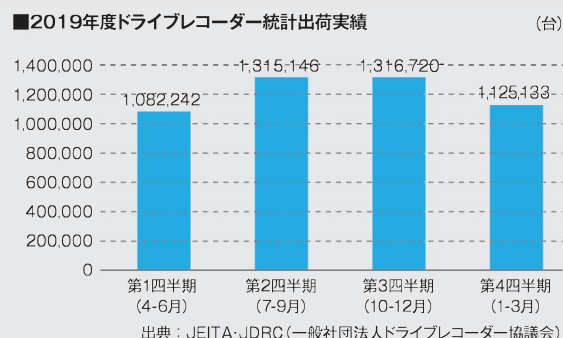
事故原因の把握のために

事故が起きた時、ドライブレコーダーの映像は、交通事故の客観的な証拠として有効です。

(民事裁判の証拠として活用されたケースもあります)

信号無視、当て逃げや執拗な幅寄せなど、多くの方が危険運転に遭遇しています。近年、ドライブレコーダーの記録映像は裁判などで証拠として有効になっています。万が一の時、確かな証拠となるドライブレコーダーはあなたの過失の有り無しを証明する決め手になります。

※メモリーカードには寿命があります。定期的に確認を行きましょう。



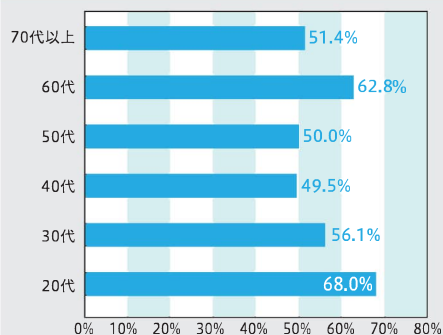
ドライブレコーダーの活用例

ドライブレコーダーが記録した交差点での事故。直後は双方が「信号は青だった」と証言しましたが、タクシーに搭載されていたドライブレコーダーが軽自動車が無視したという事実を記録していました。そして、タクシーに過失がないことを証明することができました。

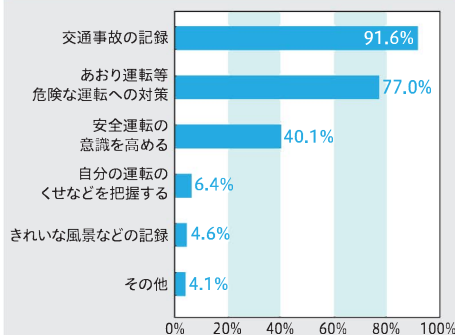


画像提供 = (株) 日本交通事故鑑識研究所

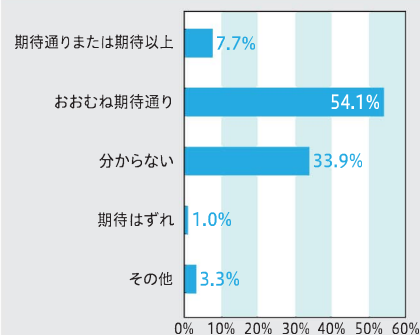
映像記録型ドライブレコーダー搭載率(年代別)



映像記録型ドライブレコーダーの導入理由 (複数回答可)



映像記録型ドライブレコーダーの導入効果



出典：国土交通省(国土交通行政インターネットモニター910人に対するアンケート結果)

安全運転の意識向上として

ドライブレコーダーは交通事故の記録だけでなく、事故防止にも活用されています。例えば運転に自信があるドライバーでも記録映像を見て、運転のくせや注意点を客観的に確認できます。運送会社やタクシーなどのプロドライバーも安全教育の一環として映像を活用しています。



ドライブレコーダーの活用に関する情報は

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03driverrec/index.html>



ドライブレコーダー搭載のメリット・注意点等は

https://youtu.be/7w1pHc8k2_A

